

# 古比や

第301号  
(令和2. 10. 1)



## 祭事曆

(十月・十一月)

### 十月中

- |      |                  |
|------|------------------|
| 二日   | 月次祭（午前十時）        |
| 十日   | 交通安全祈願祭（午前九時）    |
| 十一日  | 秋季神廟祭（午前十一時）     |
| 十五日  | 末社湯神社秋季大祭（午前十一時） |
| 十七日  | 神嘗奉祝祭（午前十時）      |
| 二十七日 | 御浜行              |

### 十一月中

- |      |                  |
|------|------------------|
| 一日   | 末社祓戸神社祭（午前五時）    |
| 二日   | 鎮魂祭（大御膳献進）（午前六時） |
| 三日   | 月次祭（午前十時）        |
| 四日   | 明治祭（午前九時）        |
| 四日   | 新潟県森林祭（午前十時半）    |
| 十日   | 交通安全祈願祭（午前九時）    |
| 十五日  | 七五三祭（十月・十一月中隨時）  |
| 二十日  | 菊花献花祭（午前十時）      |
| 二十三日 | 新嘗祭並に            |
|      | 初穂講秋季大祭（午前十一時）   |

### 十二月中

- |      |                |
|------|----------------|
| 一日   | 崇敬会大祭（午前十時）    |
| 二日   | 月次祭（午前十時）      |
| 十日   | 交通安全祈願祭（午前九時）  |
| 三十一日 | 末社祓戸神社祭（午前十一時） |
|      | 大祓式（午後三時）      |
|      | 道饗祭・鎮火祭（午後三時半） |
|      | 除夜祭（午後十時）      |



## 奉納菊花大展覧会

### 第六十回 弥彦菊まつり開催

期間 十一月一日～二十四日

「弥彦の菊まつり」として県内外より広く親しまれている奉納菊花大展覧会が、本年は第六十回の記念大会として来る十一月一日より二十四日まで盛大に開催される。規模や栽培技術、出品される種類の多さなどから「日本一」と称されているこの菊花展には、大菊・中菊・小菊・各部門にわたり約四千鉢の出展が見込まれている。

出展花は、十月三十日に厳正なる審査が行われ、最高賞である寛仁親王賞を始め、農林水産・厚生労働各大臣賞の他百余点の特別賞が選定される。十一月二十日には大前での献花祭にあわせ授賞式が執り行われる。

この名実ともに日本一の「弥彦菊まつり」には、会期中県内をはじめ全国から多くの参拝観菊者が見込まれる。

#### 大風景花壇

#### 「おやひこさま」

約三万本もの菊を挿して造園される大風景花壇は「弥彦菊まつり」の目玉のひとつとして例年好評を博しているが、本年は第六十回を記念して「おやひこさま」をテーマと決定した。弥彦山と山裾に広がる境内を多彩な菊花を以て表現する。今月十八日に造園される花壇は、日を追う毎に彩りを増して行く。

## 秋の鎮魂祭

十一月一日

来る十一月一日払暁、秋の鎮魂祭が斎行される。

この祭典は当神社古伝の特

殊神事であり、神事五日前の十月二十七日、宮司以下神職が野積浜に赴いて禊(みそぎ)をするところから始まる。この禊では海中の海藻を採つて十日六日まで潔斎の湯に浮かべ、全神職が身を清め続ける。

中、全神職が輪玉串を執つて拝礼し、魂の鎮安を祈念する。

次いで本社大前に、境内の飯殿にて神職二名が三日三夜忌み籠り調製した特殊神饌の大御膳を献進し、灯火を滅した

弥彦山頂の御神廟において十月十日午前十一時より秋季神廟祭が斎行される。

神廟祭は毎年五月、十月、春秋二度斎行される。本年五月の春季神廟祭は新型コロナ感染拡大を受けて神職のみにて奉仕したが、秋季神廟祭は例年通りとし、崇敬者をはじめ山頂施設関係者など多数参拝のものと、国家の繁栄と五穀豊穣、登拝者の安全などが祈念される。



## 秋季神廟祭 十月十日

御神廟には御祭神の天香山命(アメノカゴヤマノミコト)と妃神の熟穂屋姫命(ウマシホヤヒメノミコト)二柱を奉祀している。

# 新嘗祭 斎行

併せ初穂講秋季大祭 十一月二十三日

十一月二十三日の「勤労感謝の日」には「新嘗祭」が斎行される。この祭儀は、本年の新穀を神々に御供えして収穫を感謝し、国家・国民の平安と繁栄を祈念するもの。宮中や伊勢の神宮をはじめ、全国各地の神社にて斎行される。当神社では二十三日午前十一時より彌彦神社初穂講秋季大祭を併せ斎行される。

この祭儀を前に、一万名を超える県下各地の初穂講員が丹精を込めて栽培し、真心の感謝を込めてお供えいたします。

令和三年 新年祈祷 献燈のご案内

令和三年新年祈祷は、新型コロナ感染防止対策として次の通りにお願い申し上げます。

- 例年混雑する三が日及び土日祝日の正午前後以外に分散してのお越しをお願い申し上げます。
- 個人・会社等団体を問わずに御祈祷は代表の方数名でのお越しをお願い申し上げます。
- 古来より当神社では御祈祷において神職とともに拍手を打ち、大神様に感謝・祈念申し上げ参拝する「總拜（そうはい）」という作法が伝えられております。新年祈祷は来年よりこの古式にて御奉仕させていただきます。
- なお、新年祈祷の御初穂料は一件金五千円以上、田楽燈籠の御初穂料は一燈 金一万円、一対 金二万円のご奉納をお願いしております。（田楽燈籠の申込締切は十二月十日）。
- ご理解とご協力をお願い申し上げます。

こもつた初穂米が献納される。この初穂米は、稻作の更なる振興を図つて新潟県農産物検査協会による厳正なる審査により、特等以下各賞が選定される。優良米は、境内みずほ館にて展陳され、多くの参拝者の観覧に供される。

なお、新嘗祭は例年初穂講世話をはじめ来賓等多数参列のもと斎行されるが、本年は新型コロナ感染抑止のため、関係者のみの参列にて奉仕の予定である。

# 崇敬会大祭

十二月一日午前十時より、

崇敬会大祭が斎行される。彌彦神社崇敬会は、昭和六

十年の御遷座七十年を記念して結成されたもの。会員は県内外約六百名余。

祭典後には、御神札とともに新嘗祭にて奉獻された神饌米が撤饌として会員各位に授与される。

## 御祈祷奉納者芳名

(令和二年六月一日より)  
（令和二年八月三十一日まで）敬称略

わっぱ飯膳  
松花堂弁当

割烹

お食事

吉田屋

電話 ○ 五六四二二一〇番

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳  
松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当

わっぱ飯膳

松花堂弁当



# 県下高校弓道大会 九月十三日

九月十三日、当神社弓道場において第五十三回彌彦神社奉納新潟県高等学校弓道大会が開催された。本年はコロナ感染防止対策として参加者を通常の半数とし、時間も短縮しての開催となつた。県下二十五校より百二十三名が参加し、熱戦が繰り広げられた。成績は次の通り

団体男子

優勝 上越総合技術高校  
(土田・江村・小林)



第二位 新潟江南高校  
(田中・相馬・二平)  
第三位 新潟県央工業高校  
(小柳・鈴木・高橋)  
団体女子

優勝 新潟東高校  
(谷・青木・飯島)  
第二位 新潟高校  
(富田・大平・氏家)

第三位 長岡高校  
(佐藤・加藤・佐藤)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位 齋藤夏月  
(阿賀野高)

第三位 江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位 金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位 青木麗奈  
(新潟東高)

九月五日、当神社の宝物である刀剣類の手入れ作業が、日本美術刀剣保存協会新潟支部(近藤昌敏支部)の会員六名の奉仕により行われた。

九月五日、当神社の宝物である刀剣類の手入れ作業が、日本美術刀剣保存協会新潟支部(近藤昌敏支部)の会員六名の奉仕により行われた。

## 刀剣を手入れ

田大太刀・県指定文化財三家の正吉作の大太刀をはじめとする刀剣類には、刀身を保護するため油が塗られているが、古い油の拭き取り、塗り直しが施され、より一段と光り輝く姿となつた。

この刀剣手入れ作業は、同協会会員の奉仕により年一回実施されている。

## 宝物殿收藏

九月五日、当神社の宝物である刀剣類の手入れ作業が、日本美術刀剣保存協会新潟支部(近藤昌敏支部)の会員六名の奉仕により行われた。

第二位

新潟江南高校  
(田中・相馬・二平)

第三位

新潟県央工業高校  
(小柳・鈴木・高橋)

団体女子

優勝 新潟東高校  
(谷・青木・飯島)

第二位

新潟高校  
(富田・大平・氏家)

第三位

長岡高校  
(佐藤・加藤・佐藤)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

個人女子

優勝 佐藤芽衣  
(長岡高)

第二位

金子朝陽  
(帝京長岡高)

第三位

青木麗奈  
(新潟東高)

個人男子

優勝 藤間祐太朗  
(新潟明訓高)

第二位

斎藤夏月  
(阿賀野高)

第三位

江村優斗  
(上越総合技術高)

当日は生憎の雨模様であつたが、会員八名がそれぞれ持ち寄つた約五十株の「あじさい」は、境内南側の祓川に沿つて設けられている遊歩道脇に会員の手により植栽された。同所はこれまでほん自然のままであつたが、今回の植栽奉仕によつて、来年には若々しい緑の中に色鮮やかな「あじさい」が映える、麗しい小道となるであろう。



大々神樂講参拝

新潟市西蒲区	燕市	岩室大々講
今井 恒志郎	中島敬神講	見附市
長久講	燕敬神講	五泉市
村上市	上山崎伊夜日子妻	島切窪講
	山崎伊夜日子講	
	浜新保講	

法人事業部企画課	新潟リアルティ 国内石油開発部	帝石㈱ 国内E&P事業本部 大成建設㈱ 北信越支店	1ム 足立泰儀
江南区	くわばらでんき		
秋葉区	樋口鉄工建設㈱ 日佑		
電子㈱			
西区	エコサービスにいがた㈱		
(有) フクダ仮設	岡部ボーリング (有) 東洋車輛	㈱オリエンタルコ ボレーシヨン	
伴 昭彦 工東邦一 大関由紀子			
南区 (有)盈科 南大鏡紙商店			

新潟市北区 株アッシュトンニイ  
ガタ 伏見蒲鉾(株) 日本海洋石油  
資源開発株新潟鶴来所 渡邊亭  
東区 (株)トーカン新潟 新潟湯  
明技研(株) 税理士法人 小川会計  
中央区 (有)小泉質鋪 豊機工業  
㈱(株)中石浦(株)メイタク  
クスジヤバーン 石政石材㈱ 学校  
去八所町守美田町 (有)八所町文選

田樂燈籠獻燈者

(但し)一対以上  
敬称略

妻戸妃神会 株大原鉄工所 株美  
建工業 石油資源開発㈱長岡事業

新潟県  
弥彦温泉  
美味満開

卷之三

代客  
電話(94)一〇一三

上  
州  
苑

電話(○二五六)(94-一一一四

三笠屋

彌彦神社前通  
電話(03)94-2151

雙屋菓子鋪

神にちかう  
心ではたせ  
交通安全

彌彥神社交通安全講

新潟縣菊花連盟

事務局彌彦神社内

い や ひ こ



岐阜地鶏と中国のバフコーケンを交配改良した。天然記念物ではないが純然たる日本鶏で、良好な肉質で知られる。



山口島根兩県の原産で、本  
県の蜀鳥（とおまる）作出に  
大きく関わっている優美な蜀  
鳥と似ているが、やや小型  
で蜀鳥ほど長く鳴かない。



日本鶏らしからぬ特異な鶏  
全身の羽毛は白いが、その他  
は皮膚・肉をはじめ骨・内臓  
まで黒紫。古くから肉と卵は  
薬用として珍重されている。



闇鶏の一種。大型の鶏で、堂々たる体躯と鋭い眼光で闇う姿は薩摩隼人を思わせる。平安時代の絵巻物にも描かれて古くから愛好されている鶏。



小型の鶏。愛らしさと共に、品位風格ある姿が好まれ、江戸時代初期から飼育改良され、貴賤を問わず愛玩された。二十以上の内種に分けられる。

三百号記念寺集

彌彦神社の日本鶴(2)

当神社では神話の時代から日本人と馴染み深い日本鶏の周囲種の保護育成に努めており、昭和四十年（一九六五）より県内外からの出品を得て毎年日本鶏品評会を開催している。この度社報三百号を記念し、前号に続き当神社にて飼育中の日本鶏を紹介する。

システム㈱	J X 石油開発㈱	埼玉県	株山水花園	永田忠興
日本海洋掘削㈱	東京弥彦村人会	千葉県	合資会社市川ゴム工業㈱	武石歎次
㈲実測商事	㈱聚楽 田中義夫	葛野タツ子	神奈川県	アミュリオン クリフ
大橋眞理子	大橋優香 伊吹有喜	タルマインド	石川県	㈱ナカノフード 中野亮一
山形県	㈱アステック建築積算	愛知県	㈱日本コア一	吉積秀樹
福島県	天野徳	京都府		
栃木県	三井マネジメント			
(南)彩電工芸	岡正美			
茨城県	塩原喜代士			
群馬県				
高梨翔				

七五三まつりご案内

「七五三まいり」は、数え年(生まれた年が一歳)で、女児七歳・男児五歳、男女児三歳に当る年に、お子さまの成長を祝い、更なる御加護を願つて神社にお参りする古くからの慣わしです。

一月初旬は混雑が予想されます。新型コロナ感染防止のためにも、時期を分散してのお参りをお願い申しあげます。



雪のように清く  
湧水のように草い  
本物の國酒を愛する人へ

泉流  
こしのはくせつ  
醸造元  
弥彦酒造株式会社  
西蒲原郡弥彦村土泉1830-  
TEL 0256-94-3100

外參みやげに  
祖温泉饅頭

電話(三五〇)〇四一〇五八

せはこ  
フム  
ヨ

いやひこ

## 厄祓いのご案内

厄年とは、水い人の年における一つの転換期として心身ともに損生し、万事を慎むべき大切な節目の年と、古来より伝えられています。

厄年に当る年には神社を参拝して厄難消除・開運招福を祈念する慣わしです。

当神社では厄祓の御祈祷を隨時執り行っています。同年の方お誘い合わせの上、ご参拝いただきますようご案内申し上げます。

### 古神札等のお焚き上げについて

当神社での古神札類のお焚き上げは、神社・神棚に関わるもので可燃性の古神符守類（御神札・御守・破魔矢・熊手・絵馬など）のみ、お預かりしております。

御神酒瓶や陶器類等の不燃性の物、だるま・人形・ぬいぐるみ・財布・古手紙・写真等は、神社や神棚、御神札・御守と関係のない物はお断りしております。

正月中を除き境内二箇所の授与所、または祈祷受付にお預けください。

お焚き上げをご希望の際は、お預けください。

皆様のご協力を願い申し上げます。

お焚き上げを希望の際は、お預けください。

お預けください。

お預けください。